



みんな
富山市



それも



これも



未来へつなぐ とやま伝統芸能の祭典

2025年10月5日(日) 13:00-16:00

会場：グランドプラザ(富山市総曲輪三丁目)

内 容

伝統芸能披露

各地域に受け継がれる踊りや舞い、囃子を披露します。

曳山展示

岩瀬、八尾、下大久保の3地域の曳山を展示します。

特産品販売

各地域の特産品を集めました。

M C

三遊亭良楽さん

富山市出身の落語家 三遊亭良楽さんが、富山弁での巧みな話芸で会場を盛り上げます。



伝統芸能披露(ステージイベント) 13:00 ~ 16:00(予定)

13:00 開会・挨拶

13:10 浦町曳山車囃子(岩瀬地域)

岩瀬まだら(岩瀬地域)

高砂山曳山囃子(大沢野地域)

14:00 願念坊踊り(大沢野地域)

熊野神社稚児舞(婦中地域)

小島集落の獅子舞い・三人づり(山田地域)

15:00 畠山重忠公まつり 子ども踊り(細入地域)

東町曳山囃子(八尾地域)

越中おわら(八尾地域)

16:00 閉会



岩瀬まだら

北前船の船乗りによって北陸地方に伝えられた「まだら節」。漁の安全と大漁を祈願する舟唄で、昭和45年、岩瀬まだら保存会が設立されました。地元の日本舞踊家花柳松香氏が振付し、地域はもとより様々な催しで披露されています。



願念坊踊り

戦国時代に、ようやく訪れた平和を祝って始まったと伝わる願念坊踊り。踊り手の神子姿は高砂山の稚児舞、黄色と萌黄色の菖蒲姿は地元で咲き誇った黄菖蒲から由来したもの、法被の梅鉢紋は加賀藩の紋章で、地域の歴史を伝えています。



熊野神社稚児舞

宝永元年(1704)、悪疫の流行をおさめるため、熊野神社の守護奉仕役が私財をなげうって奉納した稚児舞。悪疫は無事退散し豊作にも恵まれたことから、氏子あげでの祭礼となり現代に伝わります。国指定重要無形民俗文化財にも指定されています。



小島集落の獅子舞い

毎年4月の春季祭礼に、五穀豊穡を願って小島牛嶽神社にて奉納獅子舞を行っています。また、三人づりはお祝いなどの際に2本の丸太に酒樽や米俵、野菜をぶら下げ、3人で担ぐもので、祝い唄にあわせて練り歩きます。



畠山重忠公まつり 子ども踊り

鎌倉時代の武将 畠山重忠を供養する法要で、毎年7月に楡原にある重忠公墓地で行われます。重忠公の遺徳を偲び奉納される子ども踊りは平成2年に復活したもので、かつて金蔵獅子で花笠をかぶって踊った女踊りを取り入れています。



越中おわら

元禄15年(1702)に加賀藩から下された「町建御墨付」を八尾の町衆が取りもどした祝いに、三日三晩、踊り明かしたのが始まりとされ、やがて、二百十日の風の厄日に台風の厄除けを願う「風の盆」の行事に変化したと言われています。

曳山展示 10:00 ~ 16:00



岩瀬

浦町曳山車

毎年5月17日・18日に行われる岩瀬諏訪神社の春季例大祭で11基の曳山車が勇壮に曳きまわされます。深夜になると山車同士をぶつけて曳き合いが行われ、漁師町が勝てば豊漁、商いの町が勝てば商売繁盛が約束されます。



八尾

八尾町祭礼曳山(東町)

越中八尾曳山祭は、毎年5月3日に開催されます。曳山囃子とともに、坂の町を曳く6基の曳山。曳山の組み上げには釘が一本も使われていません。「本祭り」や「調曳」と呼ばれる試し曳きには、子どもたちも参加して、伝統文化継承の場になっています。



下大久保

大久保高砂山曳山

高砂山願念坊祭は、下大久保八幡宮の春季祭礼で、毎年4月第2土曜日に行われます。曳航される曳山は、1866年に八尾町今町から譲り受けた初代曳山。「安永の曳山」とも言われ、現在は高砂山として受け継がれています。